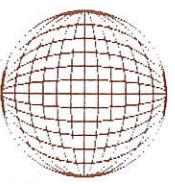


# 街づくり公社発足



## まちづくり推進課と二人三脚

これまで雑司が谷地区のまちづくりは、住環境整備課が担当し、住民のみなさんの建替えやまちづくりのお手伝いをしてきました。住環境整備課では、雑司が谷地区の他にも、東池袋4・5丁目地区、立教大学地区、染井地区などのまちづくりを担当していますが、今後ますます、まちづくりは区にとって重要な仕事となりつつあり、また、全区的に展開していく必要にせまられています。

そこで、これまで住環境整備課があこなつ

てきた豊島区のまちづくりを、さらにきめ細かく進め、住民のみなさんのご期待に応えるべく、「財団法人 豊島区街づくり公社」を設立し、住環境整備課はまちづくり推進課となります。

正式な発足は4月となりますので、くわしくは次号のまちづくりニュースでお知らせします。

### 建替え相談所

## ことしの予定

昨年度は隔月の開催だった定期建替え相談所は、今年は毎月、雑司が谷区民集会室と南池袋区民集会室で交互に開催します。

◎いずれも、第1土曜日の午後1時～4時です。

南池袋 区民集会室	4月 1日	6月 3日	8月 5日	10月 7日	12月 2日	2月 3日	
雑司が谷 区民集会室		○ 5月 6日	○ 7月 1日	○ 9月 2日	○ 11月 4日	○ 1月 6日	○ 3月 3日

毎月第一土曜日が相談日です

○が法律相談も行う日です

雑司が谷墓地周辺地区

# 街づくりニュース NO.24

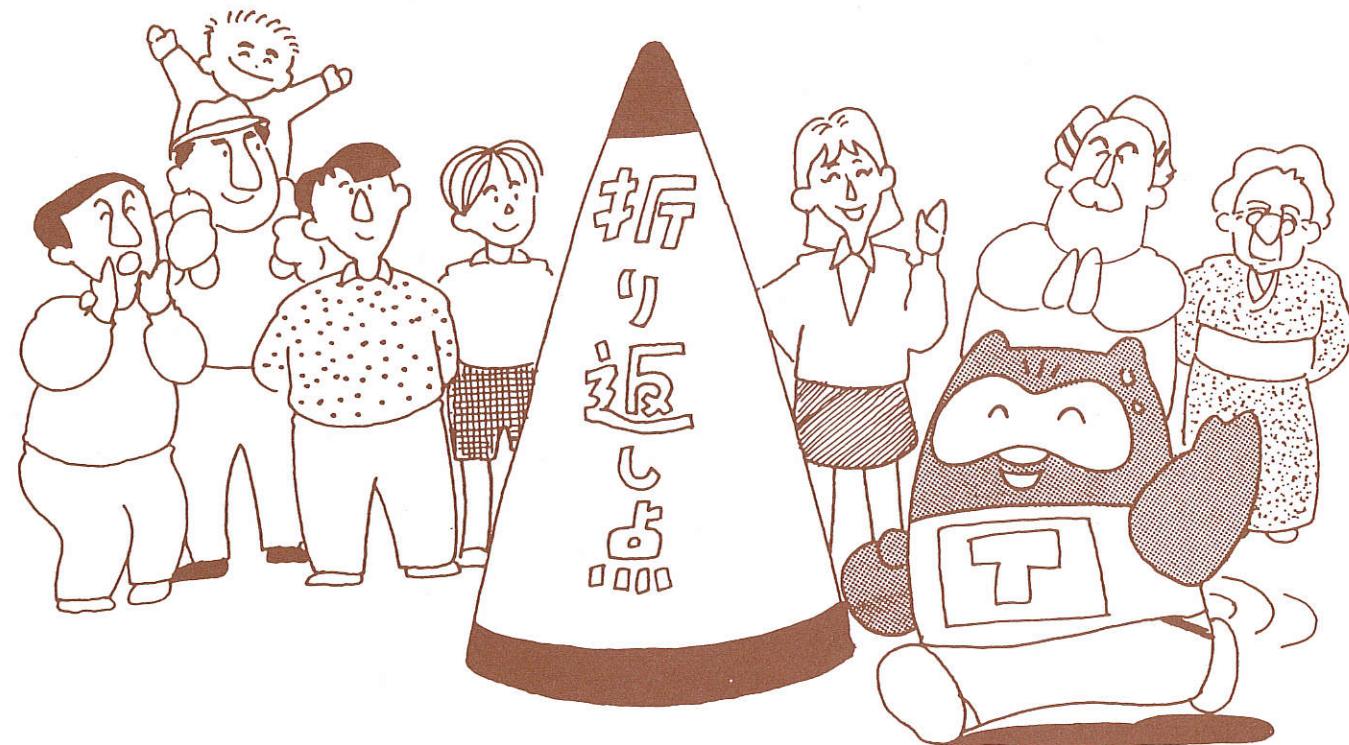
災害につよい まち をめざして

企画・発行：雑司が谷地区不燃化促進協議会

豊島区都市整備部住環境整備課

編集協力：財団法人 都市防災研究所

発行日：平成元年3月（1989年）



### 時は春、時代は平成、まちづくりもターン

新しい時代を迎え、また春を迎えて、気分も新しくなったような気がします。いかがお過ごしですか。

昭和59年に「まちづくり元年」と銘打ってスタートした雑司が谷地区の不燃化促進事業ですが、今年の春でちょうど5年目を迎える

ことになります。10年間の助成事業ですから不燃化促進事業の折り返し点にあたります。

これまでの5年同様、またそれ以上に、これから5年をまちづくりに取り組んでいきたいと思います。

● 豊島区都市整備部住環境整備課 TEL 981-1111 内線(2862)／担当：深尾、蒲地、片山

● (財) 都市防災研究所 TEL 595-1545／担当：小川、重川、斎藤、小野／発行部数2,000部

# 区よりのおしらせ

## ●高まる安全性

雑司が谷墓地周辺地区で不燃化促進事業に着手してから、事業期間10年間の半分が経過しました。

その間に地区では、燃えない建物への建替えはもとより、公園などを始めとした空地が増え、また東通りの拡幅事業が進むなど確実に安全性が向上しつつあります。

燃えない建物への建替えは、助成の対象とならなかつたものを含めて55棟が行われました。また、取り壊された木造建物は99棟に及んでいます。

不燃化された建物に対する、区からの助成金の総額は1億3000万円を超えています。

また、事業が始まってから地区内には3つの公園が新設されました。既に開園している南池袋第二公園と南池袋4丁目児童遊園です。この他に現在南池袋4丁目で3番目の公園が工事中です。この公園の地下には、100tの耐震性貯水槽が既に設置され、震災時の皆さん的生活用水を確保しています。

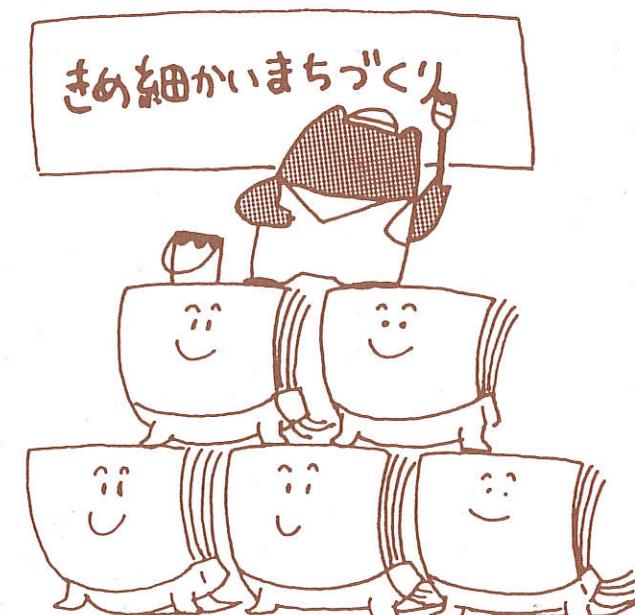
## ●よりきめ細かい まちづくりへ

区では、街づくり行政全体を力強く推進するため、4月より「財団法人 豊島区街づくり公社」を設立し、新たな活動を開始します。街づくり公社では、これまで住環境整備課で

行ってきたまちづくりを、よりきめ細かいものとし、地元のまちづくりをより強力に支援できるような態勢づくりをめざし、地元の皆様のご期待に応えていきたいと思います。

また、4月より「都市防災不燃化促進事業」による建築工事費の助成金を、これまでの250万円から30万円増額し280万円とすると共に、工事中の仮住居を必要とされる場合にあっては、建築工事費の助成の他に「仮住居費助成金」として40万円を加算いたします。

このような事業の目的や区の施策をご理解いただき、今後とも不燃化促進事業にご協力くださいようお願いいたします。



## 助成金 280万円に



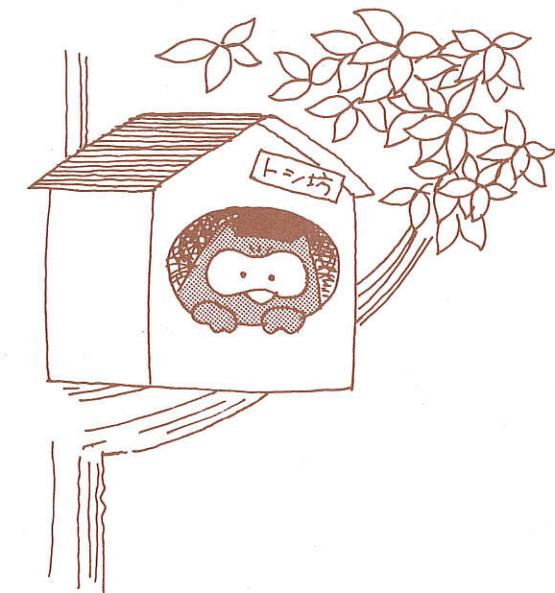
## +40 万円 仮住居にも 加算助成

自己用住宅の建替えにさいして、必要となるのが工事中の仮住居です。普通の住宅ですと4カ月～6カ月ぐらいの工事期間が必要ですが、その間生活する住宅を借りるのにも資金が必要となります。

区では4月より、自己用住宅の建替えにあたり仮住居が必要な方に対して、40万円の加算助成を行います。したがって、基本助成の280万円と併せると320万円の助成を受けることができるようになります。

なお、東通り拡幅事業で、直接に影響し、同種の補償を受ける場合は助成の対象とはなりません。

詳しくは、区におたずねください。

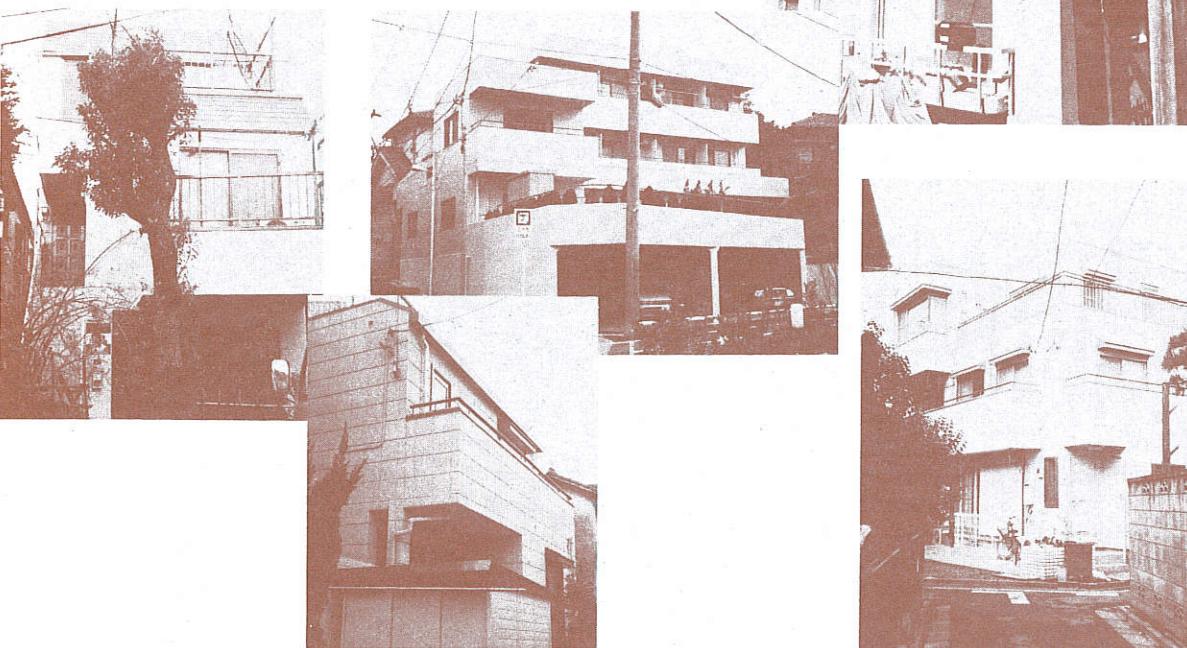


# ごぞぐど：燃えない建物

## PART 5

毎年ご好評を頂いているこのコーナーも今回で5回目です。今回は、これまでに建てられた建物が地区のどこにあるかを、まとめてお知らせします。

春の暖かい日を選んで、ニュース片手に、散歩がてら助成建物巡りをして見てはいかがですか。

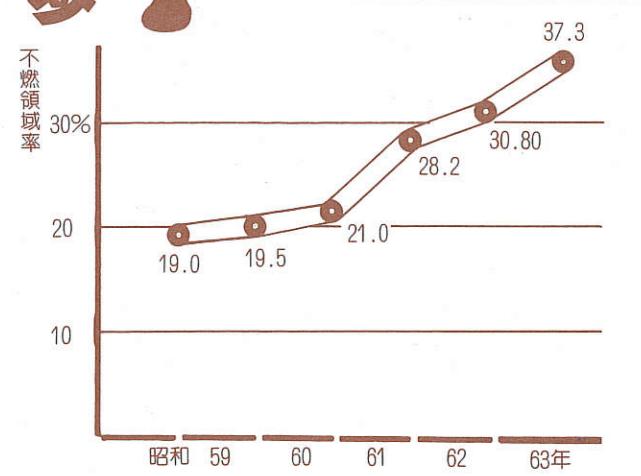


燃えない  
まちづくり

### 今年もまた一步

今年は、地区で7件の建物が助成を受けて建築されました。この建替え等によって、不燃領域率も当初の19%から37%へと、またまた一步前進しました。

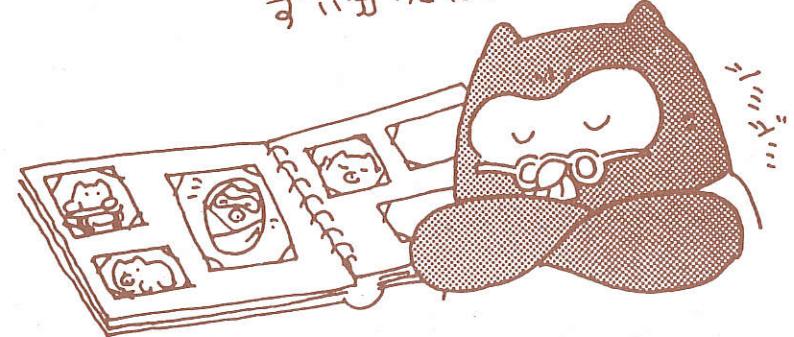
目標へはまだ長い道のりが残されていますが、一步、一步、歩んでいきたいと思います。



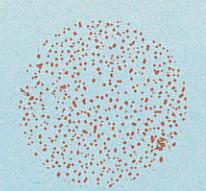
これまで完成した耐火建築物55棟を全て図面に入れてみました。



すい分成長いたもんじゃな～



# 旧宣教師館オープン



まちづくりニュースでも度々取り上げてき  
た、旧宣教師館がいよいよ公開されました。

建物やマッケーレブ師については、地元の  
方々にとっては改めてご説明するまでもない  
ことと思いますが、バラエティーに富んだ展  
示品の中でも特に目を引くのが宣教師館敷地  
と周辺地区の復元模型です。今の街並みとの  
あまりの違いに驚くと共に、いろいろな所に  
その面影を搜すこともできます。マッケーレ  
ブ師が生きた時代から、何が失われ、何が変  
わったか……、ご自分のまちを改めて見直し  
てみるのにうってつけの展示となっています。

ここに展示してあるものは、むかしの雑司  
が谷を残すためのものが多いですが、それは  
同時に、今の雑司が谷を考える、貴重な資料  
ともなっています。散歩のついでに、模型と  
实物を見くらべてみてはいかがでしょうか。

